



国見中学校だより

うえのはら

令和4年5月30日 第2号 文責（加藤）



学校教育目標「自ら気づき、考え、判断し、主体的に行動する生徒が育つ学校」

〇 中学生のパワー全開、体育大会！

5月15日（日）、「限界突破 ～心をついに巻き起こせ！青春の風～」のスローガンの下、体育大会が開催されました。新型コロナウイルス感染対策のために、過去2年間と同様にプログラムを減らした半日開催でした。本来であれば、保護者の方はもちろん、地域の方々も来賓としてご招待すべきところ、3年生のご家族の方に限定して行わざるを得なかったことをここにお詫びいたします。

さて、当日の天気は曇りで、少しというよりかなり肌寒い中でしたが、生徒は「黄」「赤」「青」の3つの分団にわかれ、スローガン通り限界を突破しようと全力で各競技に取り組んでいました。最も印象に残ったのは、各分団全員によるダンスでした。もともと短い準備期間の中、さらにはその期間中に雨もあり、グラウンドでの十分な練習などできなかったと思うのですが、それぞれに選曲とそれに合わせた振り付けが工夫され、元気いっぱい演技してくれました。



入学から約1ヶ月の1年生にとって、すべての振り付けや全体の動きを覚えることはたいへんだったと思いますが、上級生が「楽しもう」という雰囲気上手に作り、ていねいに指導してくれたことで、学年の違いを感じさせないものでした。ダンスリーダーの皆さんありがとうございました。また、体育大会を開催するに当たっては、生徒会を中心とした企画・立案、各分団の分団長はじめ役員の皆さんによる練習計画や指導、美術部によるスローガンパネルの作成、各分団のパネルリーダーによる趣向を凝らしたパネル作成、さらには、前日の夕方と当日の朝からの野球部の皆さんによる会場づくりがあったからこそだと思います。かかわってくれた一人一人に感謝です。ありがとうございました。



〇 あいさつって何だろう？

毎朝というわけではありませんが、私は校門横に立ってあいさつと立哨指導をしています。私はだれかれかまわず大きな声であいさつをしています、相手との距離やタイミング、表情、声の大きさや高さなど簡単そうで難しいものだと感じる場合があります。

そのような中、とてもうれしい光景に出会いました。いつものように、あいさつを交わした後、生徒の横断のため、車に一旦停止してもらったのですが、ある生徒が、横断後くるっと向き直り、運転されている方に一礼しました。運転されている方にはこやかな表情で会釈をかえされ、車を発進していかれました。一瞬の光景でしたが、その場にいた私は、なぜかとても清々しい気持ちになりました。あいさつには相手を思いやる部分もあるのだと、今さらながら気付かされました。私も、登校してくる生徒の皆さんが「今日も一日がんばろう！」という気持ちになれるようなあいさつができるよう心がけたと思います。

